

高知県感染症発生動向調査（週報）

2025年 第27週 （6月30日～7月6日）

★県内での感染症発生状況

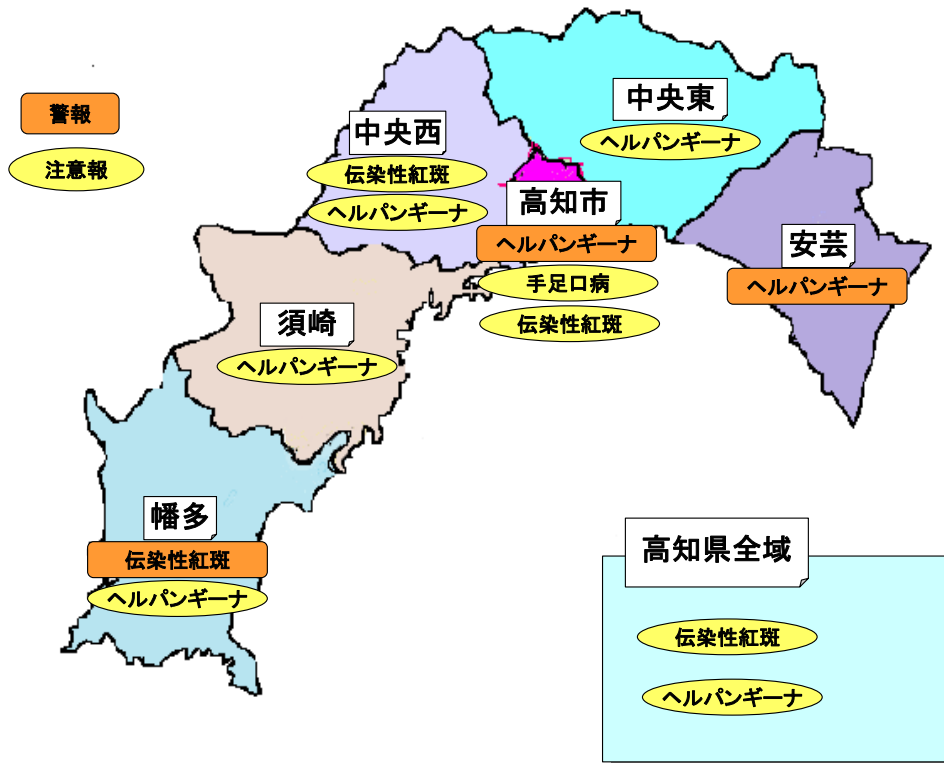
急性呼吸器感染症及び小児科定点把握感染症（上位5疾患）

疾病名	推移	定点当たり報告数	保健所管内別の傾向
ヘルパンギーナ	↑	5.75	安芸、高知市、中央東で急増、中央西、幡多で増加していますが、須崎で減少しています。
感染性胃腸炎	→	3.30	中央東で急増、幡多で増加していますが、中央西で急減、高知市、須崎、安芸で減少しています。
新型コロナウイルス感染症	↗	2.03	中央西、須崎で急増、高知市、幡多、中央東、安芸で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘	1.80	中央西で急増していますが、安芸で急減、幡多、高知市、中央東で減少しています。
伝染性紅斑	→	1.10	中央東で急増、高知市で増加していますが、須崎で急減、中央西で減少しています。

<推移の基準>

急増	↑	前週と比較し、2倍以上の場合	減少	↘	前週と比較し、0.5倍以上～0.8倍未満の場合
増加	↗	前週と比較し、1.2倍以上～2倍未満の場合	急減	↓	前週と比較し、0.5倍未満の場合
横ばい	→	前週と比較し、0.8倍以上～1.2倍未満の場合			

★地域別警報・注意報状況



★週報の発行日

週報は、毎週「木曜日」の午後3時30分以降に発行します。

ただし、「火曜日」「水曜日」「木曜日」が祝日の場合は、「金曜日」になります。

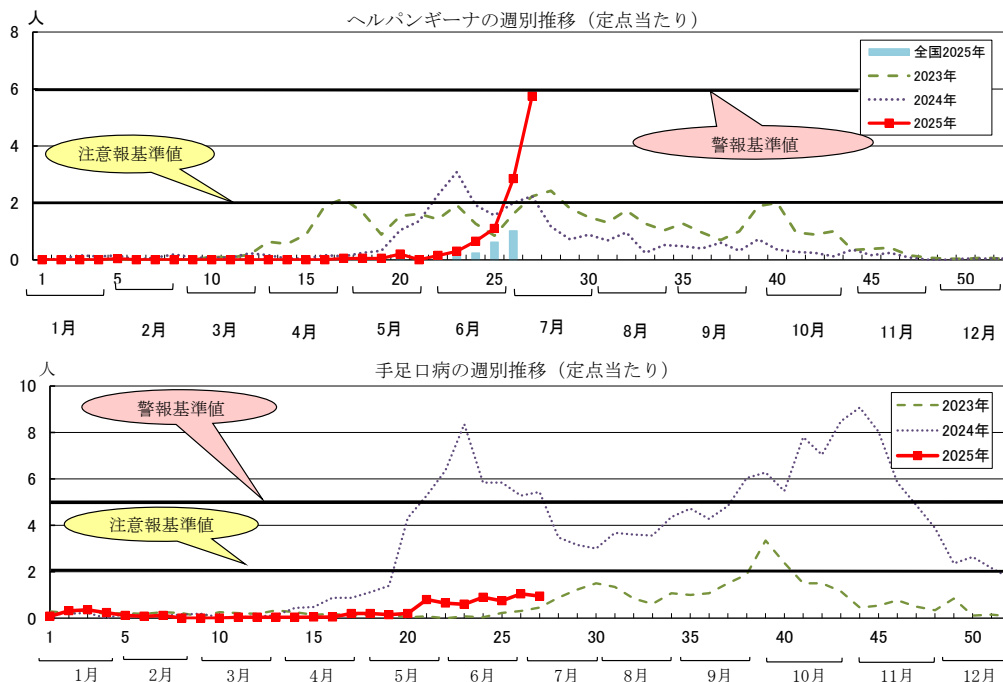
★気になる感染症

夏型感染症(ヘルパンギーナ・手足口病)

ヘルパンギーナは、発熱と口腔粘膜に形成される水疱性の発疹を主症状としたいわゆる「夏かぜ」の代表的疾患です。2～4日の潜伏期の後、突然の高熱、咽頭痛や咽頭発赤が現れます。口腔内の痛みがあり食事がとり難いため、柔らかく、薄味の食事を工夫し、水分補給を心掛けましょう。県内の病原体検出情報では、コクサッキーウイルスA4が5件検出されています。

手足口病は、通常は3～5日の潜伏期において、口の中、手のひら、足の裏や足背などに2～3mmの水疱性発疹ができます。ほとんどの発病者は数日間のうちに治る病気ですが、ごくまれに髄膜炎や脳炎などを生じることがありますので、高熱や嘔吐、頭痛などがある場合は注意が必要です。

ヘルパンギーナや手足口病の原因ウイルスであるエンテロウイルスは、回復後も便中から検出されることもあるため、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。



●予防方法

- *手洗いが大切です。流水と石けんでよく手を洗いましょう。
- *タオル・コップ等は別のものを使い、感染者との密接な接触はさけるようにしましょう。
- *回復後も2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、特に、外出後、食事の前、トイレの後に手洗いをしましょう。

●学校感染症

手足口病・ヘルパンギーナ：学校保健安全法（同法施行規則第19条）では欠席者が多くなり、授業などに支障をきたしそうな場合など、「学校長が学校医と相談をして第3種学校感染症としての扱いをすることがあり得る病気」となっています。

伝染性紅斑

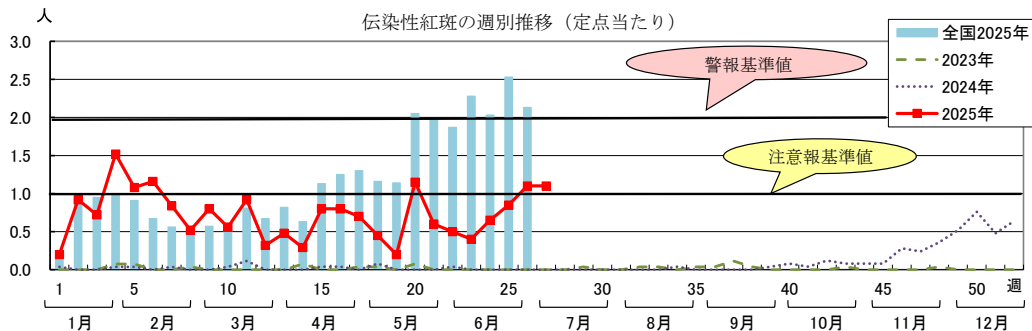
県内の報告数は、昨年と同時期と比較すると非常に多い状態が続いており、全国も同様の傾向です。

伝染性紅斑は別称「リンゴ病」と呼ばれ、頬がリンゴのように赤くなります。

約10～20日の潜伏期間の後、両頬に鮮明な赤い発疹が現れ、体や手足に網目状の発疹が広がり、通常1週間程度で消失します。多くの場合、頬に発疹が出現する7～10日前に微熱や風邪のような症状がみられ、この時期にウイルスの排出が最も多くなります。発疹が現れる時期にはウイルスの排出量は低下し、感染力もほぼ消失します。

これまで伝染性紅斑に感染したことのない女性が妊娠中（特に妊娠初期）に感染した場合、胎児にも感

染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発疹が出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関を受診しましょう。また、感染しても症状がない場合（不顕性感染）もあるため、周囲に伝染性紅斑の人がいる場合は妊婦健診の際に医師に伝えてください。



●予防方法

- * 飛沫感染や接触感染なので、手洗い、咳エチケット等の予防対策が有効です。
- * 予防接種はありません。
- * ウイルス排出時期には特徴的な症状を示さない場合もあるので、妊娠中あるいは妊娠の可能性のある女性は、できるだけ発熱などの症状のある患者との接触を避けるよう注意しましょう。

●学校感染症

伝染性紅斑は学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発疹（リンゴ病）のみで全身症状がよければ登校可能」と規定される学校感染症（第3種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないと規定されています。

百日咳

第25週以降2週連続で減少していますが、過去の報告数と比較すると多い状態が継続しています。現在910件（2025年1月1日から7月9日までの累計速報値）となっており、全ての年齢層からの報告がみられます。

また、2025年4月から6月に収集した百日咳患者の60検体のうち17検体(28%)から、治療薬であるマクロライド系抗菌剤に耐性を示す百日咳菌が検出されました。

年間報告数

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
高知県	173	172	33	3	9	7	5	910
全国	12,115	16,845	2,819	707	491	1,000	4,093	39,672

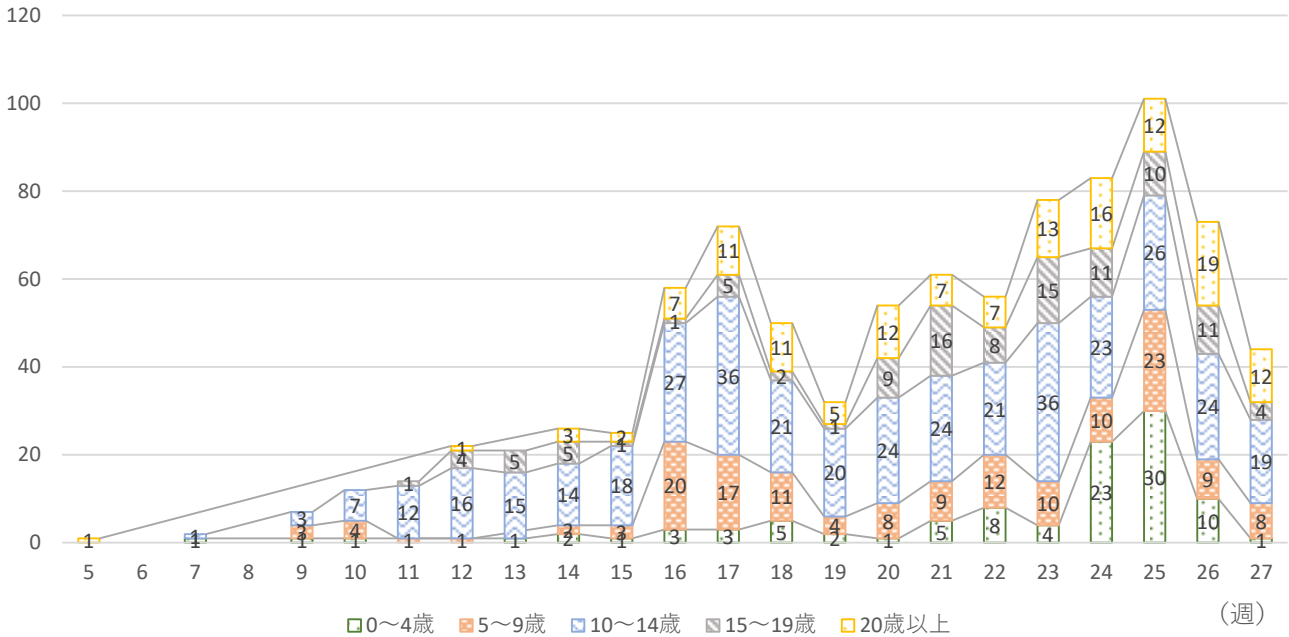
年齢別・保健所管内別報告数

(受理週で集計)

保健所	年齢					総計
	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上	
安芸	0	0	6	1	0	7
中央東	1	5	25	9	8	48
高知市	30	109	261	75	107	582
中央西	1	2	12	9	6	30
須崎	2	24	53	6	4	89
幡多	70	21	34	11	18	154
総計	104	161	391	111	143	910

(受理週で集計)

(人) 2025年 高知県百日咳報告数(週別年齢別)



症状

- ① 通常 7~10 日の潜伏期を経て、通常の風邪症状となり、次第に咳の回数が増え、程度も激しくなります(カタル期)。
- ② 短い咳が連続的に起こり(スタッカート)、続いて息を吸う時に笛の音のようなヒューという音が出ます(ウープ)。このような咳嗽発作が繰り返すことをレプリーゼといい、しばしば嘔吐を伴います(痙咳期)。
- ③ 激しい発作は次第に減衰し、2~3 週間で認められなくなりますが、その後、時折発作性の咳が出て、全経過約 2~3 ヶ月で回復します(回復期)。

感染力が強く、咳やくしゃみなどによる飛沫や接触により感染します。乳児の場合、無呼吸発作など重篤になることがあり、生後 6 か月未満では死に至る危険性がある疾患です。成人では、咳は長期間続きますが、比較的軽い症状で経過することが多く、受診・診断が遅れることがあります。患者や百日咳にかかったと気づかない大人から、重症化しやすいワクチン未接種の新生児や乳児へ感染することもあるので注意してください。

●予防方法

- *人混みはなるべくさけ、外出時にはマスクを着用しましょう。帰宅時には、手洗いを励行しましょう。
- *定期予防接種があります。ワクチンは生後 2 ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

●学校感染症

百日咳は、学校保健安全法(同法施行規則第 18・19 条)では、学校感染症(第 2 種)に位置づけられており、「特有の咳が消失するまで又は 5 日間の適切な抗菌薬療法が終了するまで出席停止」とされています。ただし、病状により感染の恐れがないと認められたときはこの限りではありません。

●参考

- *百日咳(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/whooping_cough.html

ダニの感染症(SFTS・日本紅斑熱)

第27週は須崎保健所管内から「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」1件、幡多保健所管内から「日本紅斑熱」1件の報告がありました。

県内のSFTS（重症熱性血小板減少症候群）や日本紅斑熱の報告が増加しており、SFTSは2013年の届け出開始以降、最多の報告数となっています。

初診月	2021年(R3)		2022年(R4)		2023年(R5)		2024年(R6)		2025年(R7)	
	日本紅斑熱	SFTS	日本紅斑熱	SFTS	日本紅斑熱	SFTS	日本紅斑熱	SFTS	日本紅斑熱	SFTS
1～3月	1	2		1		4		2		
4～6月	7	2	2		8	3	4	4	15	11
7～9月	3		8	3	5	2	3	2		1
10～12月	5		2	4	3	1	2	2		
計	16	4	12	8	16	10	9	10	15	12

「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」や「日本紅斑熱」は、屋外に生息する比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

マダニは、春から秋にかけて活動が活発になります。この時期は、人も農作業やレジャーなど野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります。（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

また、ネコやイヌなどの動物が感染、発症した場合、その血液や唾液などの体液に直接触れることで感染する可能性があります。ペットの健康状態の変化に注意し、体調不良の際には、咬まれたり舐められたりしないように注意してください。必要な場合は動物病院を受診しましょう。また、ペットがマダニに咬まれないようダニ駆除剤を使用することも有効です。獣医師に相談しましょう。

●予防方法

- *マダニに「咬まれないようにする」ことが予防策になります。
- *野山や畑などに出る時には、長袖・長ズボンで肌の露出を避けましょう。
- *忌避剤（虫よけ剤）を効果的に使用しましょう。（説明書の注意書に沿って使用してください）
- *野外活動後はダニに咬まれていないか確認しましょう。
- *飼っているネコやイヌが外で咬まれることもあります。ブラッシング等をこまめにしてマダニを持ち込まないようにしましょう。
- *体調不良のペットに触れたときは、手洗いを心がけてください。

●発熱等の症状が出た場合

- *野山に入って数日～数週間経過した後、発熱等の症状が出た場合は、医療機関を受診してください。
- *受診の際は、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれた可能性）を伝えてください。

●参考

- *重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関するQ&A（厚生労働省）
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html
- *高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット
<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2024022700074/>

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
27	手足口病	38℃, 発疹	9	女	須崎	Human herpes virus 7 Rhinovirus
27	水痘疑い	水疱, 発疹	4	女	須崎	Human herpes virus 7
27	ヘルパンギーナ	40℃	3	男	須崎	Coxsackievirus A4
27	ヘルパンギーナ	39℃, 咳嗽	3	女	須崎	Coxsackievirus A4
27	ヘルパンギーナ	39℃, 咳嗽	3	男	須崎	Coxsackievirus A4 Parainfluenza virus 3
27	手足口病?	38℃, 下痢, 発疹	1	女	須崎	Rhinovirus
27	ヘルパンギーナ	水疱	3か月	女	須崎	Rhinovirus

前週以前の受付

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
26	ヘルパンギーナ	39℃, 下痢	2	女	須崎	Coxsackievirus A4
26	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ様疾患)	39℃	3	女	須崎	Coxsackievirus A4
26	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ様疾患)	咳嗽	3	男	幡多	Rhinovirus
26	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ様疾患)	39℃, 咳嗽	1	男	幡多	Rhinovirus
26	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ様疾患)	39℃, 咳嗽	11か月	女	幡多	Adenovirus 2
26	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ様疾患)	40℃, 咳嗽, 気管支炎	11か月	男	幡多	Rhinovirus
26	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ様疾患)	39℃, 咳嗽	1	女	幡多	Rhinovirus

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所	
2 類	結 核	2	26	90 歳代 男性	高知市	
4 類	重症熱性血小板減少症候群	1	12	80 歳代 男性	須 崎	
	日本紅斑熱	1	15	80 歳代 女性	幡 多	
	レジオネラ症	1	5	50 歳代 男性	高知市	
5 類	カルバペナム耐性腸内細菌目細菌	1	3	70 歳代 男性	中央東	
	百日咳	1	876	10~14 歳 女性		高知市
		2		50 歳代 女性		
		1		0~4 歳 女性		
		4		5~9 歳 男性		
		3		5~9 歳 女性		
		8		10~14 歳 男性		
		7		10~14 歳 女性		
		2		15~19 歳 男性		
		2		15~19 歳 女性		
		2		20 歳代 男性		
		1		20 歳代 女性		
		2		30 歳代 女性		
		2		40 歳代 女性		
		1		50 歳代 女性		
		1		60 歳代 女性		
		1		70 歳代 女性		
		1		5~9 歳 男性	中央西	
		1		10~14 歳 女性		
		1		15~19 歳 女性		
		1		10~14 歳 男性	須 崎	
	4	0~4 歳 男性	幡 多			
	1	0~4 歳 女性				
2	5~9 歳 女性					
1	10~14 歳 女性					
1	15~19 歳 男性					
1	30 歳代 男性					
1	40 歳代 女性					
1	60 歳代 女性					
1	80 歳代 男性					

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	いちほら内科小児科	百日咳 1 例 (9 歳男)
	JA 高知病院小児科	RS ウイルス感染症 3 例 手足口病 1 例 伝染性紅斑 1 例 アデノウイルス咽頭炎 3 例 インフルエンザ B 型 1 例 ヘルパンギーナ 17 例 溶連菌性咽頭炎 3 例
高知市	けら小児科・アレルギー科	百日咳 10 例 (7 歳、8 歳、9 歳、11 歳 2 人、12 歳 2 人、13 歳 2 人、18 歳) カンピロバクター腸炎 1 例 (6 歳) インフルエンザ B 型 1 例 COVID-19 4 例 マイコプラズマ肺炎 2 例 (8 歳、9 歳)
	はまだ小児科	インフルエンザ A 型 1 例
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症 9 例 (流行中) 手足口病 7 例 (流行中) ヘルパンギーナ 8 例 (流行中) 伝染性紅斑 4 例 COVID-19 4 例
	細木病院小児科	百日咳 4 例 (9 歳男、10 歳男、10 歳女、12 歳女) マイコプラズマ感染 1 例 (8 歳男) マイコプラズマ肺炎 2 例 (3 歳女、4 歳女) COVID-19 1 例 咽頭結膜熱 1 例 感染性胃腸炎 1 例 手足口病 3 例 伝染性紅斑 5 例 突発性発疹 1 例 ヘルパンギーナ 3 例
中央西	くぼたこどもクリニック	マイコプラズマ感染症 3 例 (7 歳女、8 歳女、11 歳女)
	日高クリニック	マイコプラズマ気管支炎 4 例 (4 歳女、14 歳男、30 歳代 男女) マイコプラズマ肺炎 1 例 (13 歳女)
須崎	もりはた小児科	百日咳 2 例 (16 歳、17 歳) ヘルパンギーナ 4 例 (増加傾向) 全体に落ち着いている
幡多	こいけクリニック	百日咳 5 例 (1 歳女、2 歳男 2 人、4 歳男、62 歳女)

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）

〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1 高知県保健衛生総合庁舎2階

TEL：088-821-4961 FAX：088-821-4696

※この情報に記載のデータは 2025 年 7 月 8 日現在の情報により作成しています。

★高知県感染症情報 疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報（49定点医療機関）

第27週 令和7年6月30日（月）～令和7年7月6日（日）

高知県衛生環境研究所

定点名 (定点数)	疾病名等	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(26週)	高知県(27週未累計) R6/12/30～R7/7/6	全国(26週未累計) R6/12/30～R7/6/29
急性呼吸器感染症(38)	急性呼吸器感染症(ARI)*		58	270	761	189	63	197	1,538 (40.47)	1,518 (39.95)	194,889 (50.58)	18,084 (475.89)	2,564,130 (667.57)
	インフルエンザ			2	2			4	8 (0.21)	1 (0.03)	1,023 (0.27)	7,905 (208.03)	616,976 (140.38)
	新型コロナウイルス感染症		3	9	32	10	7	16	77 (2.03)	48 (1.26)	5,405 (1.40)	4,086 (107.53)	379,177 (86.27)
小児科(20)	咽頭結膜熱				4				4 (0.20)	6 (0.30)	1,713 (0.73)	141 (7.05)	26,752 (9.74)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			6	18	2	3	7	36 (1.80)	52 (2.60)	5,974 (2.54)	1,397 (69.85)	163,660 (59.58)
	感染性胃腸炎		1	2	26	2	3	32	66 (3.30)	66 (3.30)	13,125 (5.57)	2,582 (129.10)	519,188 (189.00)
	水痘				1				1 (0.05)	3 (0.15)	1,291 (0.55)	87 (4.35)	24,830 (9.04)
	手足口病			2	17				19 (0.95)	21 (1.05)	992 (0.42)	168 (8.40)	8,118 (2.96)
	伝染性紅斑			1	12	2	1	6	22 (1.10)	22 (1.10)	5,020 (2.13)	444 (22.20)	79,632 (28.99)
	突発性発疹				5		1	1	7 (0.35)	10 (0.50)	890 (0.38)	142 (7.10)	17,984 (6.55)
	ヘルパンギーナ		8	20	62	9	4	12	115 (5.75)	57 (2.85)	2,398 (1.02)	224 (11.20)	6,127 (2.23)
	流行性耳下腺炎								()	1 (0.05)	201 (0.09)	25 (1.25)	3,718 (1.35)
	RSウイルス感染症			3	3	1			7 (0.35)	5 (0.25)	661 (0.28)	424 (21.20)	52,343 (19.05)
眼科(3)	急性出血性結膜炎								()	()	12 (0.02)	()	794 (1.15)
	流行性角結膜炎								()	()	611 (0.88)	26 (8.67)	14,356 (20.75)
基幹(8)	細菌性髄膜炎				1				1 (0.13)	()	9 (0.02)	2 (0.25)	246 (0.51)
	無菌性髄膜炎								()	()	23 (0.05)	5 (0.63)	363 (0.76)
	マイコプラズマ肺炎				3				3 (0.38)	7 (0.88)	281 (0.58)	128 (16.00)	5,580 (11.63)
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								()	()	3 (0.01)	()	53 (0.11)
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)								()	()	14 (0.03)	21 (2.63)	1,685 (3.51)
計(ARIを除く)		12 (10.00)	45 (10.08)	186 (21.93)	26 (10.50)	19 (7.75)	78 (22.19)	366 (16.60)			39,646	17,807 (597.26)	1,921,582
前週(ARIを除く)		5 (3.67)	24 (5.46)	163 (19.97)	24 (10.50)	23 (10.75)	60 (17.52)		299 (14.32)				

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例
*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

注 () は定点当たり人数

高知県感染症情報（49定点医療機関） 定点当たり人数

第27週

定点名 (定点数)	疾病名等	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(26週)	高知県(27週未累計) R6/12/30～R7/7/6	全国(26週未累計) R6/12/30～R7/6/29
急性呼吸器感染症(38)	急性呼吸器感染症(ARI)*		19.33	38.57	58.54	47.25	15.75	28.14	40.47	39.95	50.58	475.89	667.57
	インフルエンザ			0.29	0.15			0.57	0.21	0.03	0.27	208.03	140.38
	新型コロナウイルス感染症		1.00	1.29	2.46	2.50	1.75	2.29	2.03	1.26	1.40	107.53	86.27
小児科(20)	咽頭結膜熱				0.50				0.20	0.30	0.73	7.05	9.74
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1.50	2.25	1.00	1.50	2.33	1.80	2.60	2.54	69.85	59.58
	感染性胃腸炎		1.00	0.50	3.25	1.00	1.50	10.67	3.30	3.30	5.57	129.10	189.00
	水痘				0.13				0.05	0.15	0.55	4.35	9.04
	手足口病			0.50	2.13				0.95	1.05	0.42	8.40	2.96
	伝染性紅斑			0.25	1.50	1.00	0.50	2.00	1.10	1.10	2.13	22.20	28.99
	突発性発疹				0.63		0.50	0.33	0.35	0.50	0.38	7.10	6.55
	ヘルパンギーナ		8.00	5.00	7.75	4.50	2.00	4.00	5.75	2.85	1.02	11.20	2.23
	流行性耳下腺炎								()	0.05	0.09	1.25	1.35
	RSウイルス感染症			0.75	0.38	0.50			0.35	0.25	0.28	21.20	19.05
眼科(3)	急性出血性結膜炎								()	()	0.02	()	1.15
	流行性角結膜炎								()	()	0.88	8.67	20.75
基幹(8)	細菌性髄膜炎				0.20				0.13	()	0.02	0.25	0.51
	無菌性髄膜炎								()	()	0.05	0.63	0.76
	マイコプラズマ肺炎				0.60				0.38	0.88	0.58	16.00	11.63
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								()	()	0.01	()	0.11
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)								()	()	0.03	2.63	3.51
計(ARIを除く)		10.00	10.08	21.93	10.50	7.75	22.19	16.60			597.26		
前週(ARIを除く)		3.67	5.46	19.97	10.50	10.75	17.52		14.32				

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例
*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

疾病別・年齢別報告数

高知県感染症情報 (49定点医療機関)		疾病別・年齢別報告数											2025年 27w									
定点 (定点数)	疾病名等	合計	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上				
急性呼吸器感染症 (38)	急性呼吸器感染症 (ARI)*	1,538	136	517	300	178	45	35	57	41	39	45	60	85								
定点 (定点数)	疾病名等	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上
急性呼吸器感染症 (38)	インフルエンザ	8			1									2		1	1	2	1			
	新型コロナウイルス感染症	77	1		1				1				1		3	6	6	12	12	9	9	16
定点 (定点数)	疾病名等	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳以上						
小児科 (20)	咽頭結膜熱	4		1	1	1																
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36				1	2	2	3	5	4	3	4	7		5						
	感染性胃腸炎	66	3	4	7	9	4	3	2	10	4	2	5	9	2	2						
	水痘	1											1									
	手足口病	19	1		3	5	5	1	1		1	1	1									
	伝染性紅斑	22				1	2	2	3	4	1			3	6							
	突発性発疹	7		1	4	2																
	ヘルパンギーナ	115		8	50	31	15	9	1	1												
	流行性耳下腺炎																					
RSウイルス感染症	7		2	2	2	1																
定点 (定点数)	疾病名等	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	
眼科(3)	急性出血性結膜炎																					
	流行性角結膜炎																					
定点 (定点数)	疾病名等	合計	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上				
基幹(8)	細菌性髄膜炎	1													1							
	無菌性髄膜炎																					
	マイコプラズマ肺炎	3			1						1										1	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)																					
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)																					

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例

*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

疾病別年次報告数推移 2025年第27週

(急性呼吸器感染症定点・小児科定点・眼科定点)

